

**指宿市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進ビジョン（案）
に対するご意見等とそれに対する市の考え方**

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	<p>新規に、「はじめに」を表紙と目次の間のページに入れたらどうか。</p> <p>理由：本ビジョンの主旨をポイントを押さえて分かり易く包括的に示し、また、市民と協力して施策を着実に実行する指宿市の意思をビジョンの冒頭で首長が示すことは重要であるため。</p>	<p>本ビジョンは、P3「4 ビジョンの位置付け」の図に記載のありますとおり、『指宿市デジタル活用宣言』の具体的な取り組みとして位置付けております。</p> <p>『指宿市デジタル活用宣言』の内容が首長自らが、経緯などを示していることから、本ビジョンについては、「1 策定の趣旨」から記載することといたします。</p>
2	<p>【P1～P2】</p> <p>「1 策定の趣旨」と「2 国の基本内容等」は一つにまとめ「1 策定の背景」とし、国の「閣議決定」、「基本方針」、「推進計画」といった重要な項目及び県の「推進戦略」を記述する。他の細かいものはその下に年表などとして時系列で掲出したらどうか。また、文章の「国は、「第5期・・・」・・・進めています。」及び「Society5.0」は、当ビジョンとの親和性は小さいので、削除したらどうか。</p> <p>理由：文字が切れ目なく続き、読み手の頭に入らないし、国のどの計画が重要なのか理解できないため。</p>	<p>「1 策定の趣旨」と「3 国の基本内容等」については、別の内容であることからまとめたの記載でなく、別に記載をすることとします。</p> <p>「Society5.0」については、未来社会の姿を市民の皆様がイメージするきっかけになるよう記載することとします。</p> <p>なお、計画の記載方法については、ご意見の内容を踏まえ、修正いたします。</p>
3	<p>【全体】</p> <p>「図・表」では、「図の下に番号とタイトル」を、「表の上に番号とタイトル」を入れておいた方が分かり易い。</p>	<p>ご意見のとおり、修正いたします。</p>
4	<p>【P2】</p> <p>「2 ビジョンの目的」は、本ビジョンの核心をなす部分であるためDX推進の必然性や重要性、今後の方向性などを記述した上で、P4—6にある次の3本柱について記述すべきではないか。</p> <p>(1) 市民生活の質の向上 (2) 行政の業務変革 (3) 戦略的なシティプロモーション</p>	<p>「2 ビジョンの目的」は、本ビジョンの目的を記載しており、P4「6 重点的な取り組み」は取り組みの内容を記載しております。重点的な取り組みは、目的を達成するための重要な項目であることから、別に記載をすることとします。</p>

**指宿市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進ビジョン（案）
に対するご意見等とそれに対する市の考え方**

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
5	<p>【P2】</p> <p>併せて、既存のデジタルシステムも含めた「セキュリティ対策の強化」について記述しておく必要はないか。</p>	<p>ご意見のとおり、「セキュリティ対策の強化」については、重要な取り組みであることから、P9に「セキュリティ対策の徹底」として、別に記載をすることとします。</p>
6	<p>【P3】</p> <p>「4ビジョンの位置づけ」の後に、「5DX推進ビジョンと本市の現状」の項目を加え、そもそもDXとは何か、また、本市の現状を示しておいた方が良くないか。</p> <p>例えば、DXについては立場によって定義が異なると言われているが、本ビジョンでは次の3つのステージとその概要を分かり易く示し、</p> <p>DXが単なるアナログのデジタル化やデジタル機器の導入によるデータ処理を超えた、市民生活の質の向上や行政の業務変革であることを提示しておいた方が良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタイゼーション <p>手書きの申請書をパソコンなどに保存、処理、送信できるようにデジタル形式に変換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタライゼーション <p>デジタル変換したデータをパソコンやスマートフォンなど使って作業の進め方を格段に迅速化、効率化するといった、技術面での変革を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル トランスフォーメーション (DX) <p>この説明は複雑であるため、以下に「鹿児島県デジタル推進戦略」からの引用をお示しします。</p> <p>一方で、こういったデジタル変革に適応するためには、職員研修や組織改革、協力会社の育成、また、一般社会におけるデジタルツール（スマートフォンの所有・利用）の広範な普及などが前提となる。</p> <p>本市がこのDX推進ビジョンを着実に実行するに当たっては、本市が置かれている官民の「デジタルツール」、「人」、「組織」などの現</p>	<p>DXの説明については、P1において一般的な用語説明を行い、P4で指宿市のDX推進における3つの重点的な取り組みを記載することとします。</p> <p>また、ご意見のとおりデジタルに関する用語や解釈の説明については、複雑であることから参考として他の機関が作成している資料集等の掲載も検討いたします。</p>

指宿市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進ビジョン（案）
 に対するご意見等とそれに対する市の考え方

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
	<p>状的に確実に認識しておく必要があり、その概要を盛り込んでおくことが不可欠と思います。</p> <p>鹿児島県デジタル推進戦略 令和4年3月 第2章 デジタルによる社会変革 2 デジタルにより社会変革をもたらした先進事例 (3) U b e r の事例</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、自宅で飲食する機会が増えたことで、国内でも料理の宅配サービスとして有名になった「U b e r E a t s」ですが、もともと、U b e r は、スマートフォンアプリを利用した米国の自動車配車サービスの会社です。国内では、法規制上の問題で展開されていませんが、米国では、スマートフォンのU b e r アプリに、必要な情報（行きたい場所等）を入力するだけで、タクシーを探さなくても、今いる場所の近くにいる自動車が迎えに来てくれ、目的地まで届けてくれます。具体的には、まず、利用者が、スマートフォンのU b e r アプリに、自分の行きたい場所や乗車人数を指定し、配車を希望します。迎えに行く場所は、利用者のスマートフォンに搭載されているGPS機能で判別できるため、利用者には、配車されるまでの時間や、配車される自動車、ドライバーの情報などが提示され、配車後は、ドライバーに目的地や道順を説明する必要がなく、目的地に到着できます。また、料金決済はアプリ内で完結しますので、ドライバーとの金銭のやりとりも発生しません。U b e r がタクシーと異なるのは、配車される自動車が、事前にU b e r に登録されている個人の自動車だということです。つまり、U b e r は、タクシー会社を運営しているわけではなく、仕組みを提供しているだけです。逆に言えば、この仕組みを利用することによ</p>	

**指宿市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進ビジョン（案）
に対するご意見等とそれに対する市の考え方**

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
	<p>り、U b e rで働くドライバーは、自分の都合に合わせて、例えば、休日だけや深夜だけなどの働き方が可能です。U b e rはデジタル技術を使って、新たな「仕組み」を作ったことで、大きな利益を上げており、その点が社会変革の先行事例として評価されています。U b e rの成功により、「U b e rに登録すれば、身近にいるドライバーが迎えに来てくれる」ということが当たり前となった結果、「街中を移動している空車のタクシーを捕まえてから、目的地に移動する」という常識は通用しなくなりました。ということです。</p>	
7	<p>【P5】 6－（１）－「オ デジタルデバインド対策の推進」、6－（２）－「ア 職員のデジタルリテラシーの向上」においては、単に「デジタル情報」に接した際の情報リテラシーはもちろんのこと、近年、大きな社会問題となりつつある「フェイクニュース」対応に関して、紙の「新聞」、映像の「テレビ」と言った幅広い情報媒体から情報を取得、比較することの重要性についても記述しておかれたらどうか。 なお、「デジタルデバインド」(Digital Divideここではデジタル情報格差) の用語は、もう少し平易なそれにしたらどうか。</p>	<p>ご意見のとおり、P5の「情報リテラシー」の文言を「メディアリテラシー（テレビや新聞等のマスメディアやインターネットから受け取った情報を主体的に読み取る能力や情報を取捨選択する能力のこと）」に修正いたします。 また、デジタルデバインドの文言については、注釈において説明することとします。</p>
8	<p>【P7】 6－（２）－「イ・・・ペーパーレス化」は、「行政文書のデジタル化」にほかならず、この部分は必要か？</p>	<p>「イ 業務見直し（BPR）及びペーパーレス化の推進」については、文書をデジタル化することが目的ではなく、既存業務を見直しつつ、効率化や事務改善しながら、解決策として必要であればペーパーレス化を実施するという手順を踏むべきだと考えておりますので、現在の記載のとおりとします。</p>

指宿市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進ビジョン（案）
 に対するご意見等とそれに対する市の考え方

No.	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
9	<p>【P7】</p> <p>むしろ、「イ 業務見直し・・・」と6－（2）－ウの「システム標準化・共通化」、同エの「オンライン化」をうまく繋げて一つにまとめた方が分かり易いのではないか。</p>	<p>P7の「イ 業務見直し（BPR）及びペーパーレス化の推進」については、No. 8の回答と同一の回答となります。</p> <p>また、P8の「ウ 国の推進するシステム標準化・共通化への円滑な対応」及び「エ 国の推進する行政手続きのオンライン化の効率的な運用の推進」は、国の主導するDXの取り組みであることから、国に準じて別に記載をすることとします。</p>
10	<p>【P9】</p> <p>6－（2）－「キ テレワークの推進」とあるが、市役所の業務とテレワークとは親和性は高いとは思われない。災害時等の特殊事情がある時といった仮定を入れておく方が普段の市役所の業務に誤解を与えないで済むのではないか。</p>	<p>総務省自治行政局公務員部が発行している『地方公共団体におけるテレワーク推進のための手引き』に「地方公共団体におけるテレワーク推進の意義」が明記されており、今後もテレワークを検討する必要があると考えております。そのことからP9の「キ テレワークの推進」については、現在の記載のとおりとします。</p>
11	<p>【P11】</p> <p>「戦略的なシティプロモーション」は聞きなれない用語です。内容を見ると「DXによる再活性化」あたりが適切ではないかと思しますので、工夫されたらどうでしょう。</p>	<p>「シティプロモーション」の用語については、注釈を入れて対応いたします。</p>